

各新聞など情報誌の記事をピックアップして掲載しています。
木のこと、経済、福祉、災害、エコ、住まいなど、色々な話題です。

平成27年10月のきごころ通信 (先月の話題)



子ども見守り、地域ぐるみ リクルートが実験

住民が位置受信→保護者通知

リクルートは、地域のネットワークを生かした子供の見守りサービスを始めます。子どもが持つ専用端末から発信される電波を、近隣住民のスマートフォンで受信し、位置情報を保護者に通知するシステムを開発。2016年以降の本格サービス開始を目指します。

保護者や学校周辺の住民のスマホに電波を検知するアプリを入れてもらいます。子どもが住民のスマホの近くを通り中継局として機能し、保護者に場所と時刻を通知します。

(2015年9月2日 日本経済新聞記事から抜粋)



人手不足 もがく現場 賃上げや保険加入・・・劣悪な環境見直す時

選別受注進む 外国人も敬遠 年収200万円強

- ・人手不足と資材費の高騰で、ゼネコンが選別受注を進めています。
- ・建設現場の人手不足は深刻です。特に足りないのが、型枠工や鉄筋工、とび職といった「建設躯体工事の職業」。7月の有効求人倍率は6.79倍と、全業種の中で最高。
- ・アジアでも賃金が上昇し、日本は以前ほど魅力的な出稼ぎの場ではなくなっています。
- ・過去20年間で労働環境があまりに悪化。1996年度まで80兆円前後で推移していた建設投資は、景気低迷と公共工事削減で2010年度までに42兆円に半減しました。ゼネコンなどは激しい受注競争を続けました。
- ・2010年には、型枠工、鉄筋工ともに賃金水準が年収200万円近くまで下落。交通費や道具代もほとんど自腹。
- ・関東地区で型枠技能工の雇用保険の加入率は18%、厚生年金はわずか12%。

(2015年9月3日 日本経済新聞記事から抜粋)



昨年の出生数 最少100万人 4年連続で減少

厚生労働省が発表した2014年の人口動態統計によると、出生数は1,003,539人で、前年より26,277人減りました。公表を始めて以来最少で、4年連続の減少。

(2015年9月4日 日本経済新聞記事から抜粋)



街角景気、2か月連続低下 — 近畿8月 先行き、懸念強まる

内閣府が発表した8月の景気ウォッチャー調査によると、近畿の景況感を示す現状判断指数は前月1.0ポイント低い51.4と、2か月連続で低下しました。

2～3か月先の見通しを示す先行き判断指数は5.3ポイント低下の47.3。低下幅

各新聞など情報誌の記事をピックアップして掲載しています。
木のこと、経済、福祉、災害、エコ、住まいなど、色々な話題です。

は全国で最も大きく、好・不況の判断の分かれ目となる50を8か月ぶりに下回りました。
中国景気の先行き懸念などが背景にあるとみられます。

(2015年9月9日 日本経済新聞記事から抜粋)



建材店、新会社で5割増 LIXIL リフォーム需要対応

LIXILは建設業者向けの会員制建材店事業を10月に事業分離し、新会社(建デポ)に移管します。5年後に店舗数を1.5倍に増やします。

石膏ボードや木材、住宅設備など工事用資材を約3万点扱います。会員制で約60万人の顧客。売上高は308億円。全国で64店舗。2020年までを目途に30店舗新設。

(2015年9月10日 日本経済新聞記事から抜粋)



こわばる関節 リウマチかも 30代から発症 早期治療カギ

感染症、仕事・・・過度のストレス注意 進行抑制は可能

発症年齢のピークは30～50代。働き盛りの女性に多くみられます。大切なのは発症早期に適切な治療を受けること。

☆検査方法：血液や超音波検査など。

☆薬：ステロイド薬・抗リウマチ薬・生物学的製剤

※生物学的製剤を使えば、3割負担でも1か月の薬代は数万円にもなります。

◎見逃したくない関節リウマチの初期症状

《関節の症状》

☆朝起きたとき関節がこわばる

・起きてすぐに手足や体が動かしにくく、しばらく動かしていると次第に動くようになる。

☆関節が腫れる

・腫れている部分は水枕のように柔らかく紡錘状。赤くなり熱を持つことも。

☆関節が痛い

・全身の様々な関節の傷みが起こる。特に、指の第2関節、指の付け根、手首に多い。

《関節以外の症状》

☆微熱が続く ☆全身がだるい感じがする ☆食欲が落ちる ☆食事量は変わらないのに体重が減る ☆朝から疲れている ☆目の渇きや充血、ゴロゴロ感がある ☆リンパ腺が腫れる ⇒ かかりつけ医や、「リウマチ科」のある医療機関、日本リウマチ学会認定専門医などに相談。(2015年9月12日 日本経済新聞記事から抜粋)



マンション発売20%減 近畿8月戸数 秋に大型物件控え

不動産経済研究所が発表した8月の近畿のマンション市場動向調査によると、新規発売戸数は前年同月比20.4%減の969戸でした。2か月続けての前年割れです。

各新聞など情報誌の記事をピックアップして掲載しています。
木のこと、経済、福祉、災害、エコ、住まいなど、色々な話題です。

契約率は7.7ポイント改善して79.4%。大阪市内の物件が約5割を占めています。
販売在庫戸数は12.8%減の1743戸。

1戸当たりの平均価格は4%下がり3641万円と、3か月連続のマイナス。1m²当たりの単価は60.5万円で、23年ぶりに60万円を超えました。

秋口には、これまで抑えられてきた郊外での物件供給が増えます。
(2015年9月15日 日本経済新聞記事から抜粋)



大阪、伸び率全国首位 — 基準地価

商業地3.6%、訪日客増で ミナミに1、2位地点

近畿が発表した2015年7月1日時点の基準地価は、大阪の商業地が3年続いて上昇し、上昇率は3.6%と全国都道府県の中で1位でした。訪日客増加で店舗や宿泊施設の不動産需要が拡大しました。商業地は京都、滋賀でも上昇。

住宅地は大阪のみ横ばいで、ほかの5府県は下落が続きました。住宅用地は依然、郊外を中心に需要が伸び悩んでいます。

大阪府の商業地の上昇率が全国1位になったのは2年ぶり。上昇率1、2位の地点は大阪府中央区の南船場と難波。京都府の商業地は1.6%上がり、上昇は2年連続。京都市の上昇率は3.8%。兵庫県の商業地は0.8%低下。

(2015年9月17日 日本経済新聞記事から抜粋)



言葉のぼかし表現浸透 — 文化庁調査 断定避ける風潮

「微妙」→良し悪し判断できぬとき 「わたし的には」→自分の責任回避

文化庁が発表した2014年度の国語に関する世論調査で、いいか悪いかの判断がつかない時に「微妙」という言葉を使う人は、3人に2人に上ることがわかりました。「わたし的には」など、断定を避けたぼかした表現を使う人も増える傾向にあります。

「手書きしない」3割弱 でも「大切にすべき」9割

日常生活で文字を手書きする機会が「あまりない」「ない」と答えた人が計27.3%に上りました。40代以上の方が手書きの機会が少なかったようです。

一方、「手書きの習慣を大切にすべきだ」と考える人は91.5%に達しました。

(2015年9月18日 日本経済新聞記事から抜粋)



食欲の秋 味覚は大丈夫？

薬で亜鉛不足、ストレスも原因 楽しく食事、偏食にも注意

☆健康的な味覚を保つ生活術

・バランスのよい食事

ファーストフードや炭水化物中心の食事は、亜鉛不足を招きやすい。

各新聞など情報誌の記事をピックアップして掲載しています。
木のこと、経済、福祉、災害、エコ、住まいなど、色々な話題です。

亜鉛の多い食材：牛肩ロース、大豆、牡蠣)

- ・食事は仲間と楽しく

楽しい会話は唾液を出やすくし、味を感じやすくする（特に高齢者）。

- ・飲んでいる医薬品を確認

亜鉛の吸収を妨げる薬は多い。味の異変を感じたら医師や薬剤師に相談を。

例：血圧を下げる薬、抗生物質、抗うつ薬、消炎鎮痛剤など。

(2015年9月19日 日本経済新聞記事から抜粋)



ゼロエネ住宅 一斉販売 ミサワ、全戸標準仕様

パナホームは85%

消費電力抑え太陽光発電

住宅大手がエネルギー消費が実質ゼロとなる省エネ住宅「ゼロエネルギー住宅」の販売に乗り出します。太陽光パネルによって、家庭内で消費するエネルギーよりも多く発電。

通常の住宅と比べて250万～300万円の追加費用が必要。これとは別に太陽電池が工事費込みで150万～200万円かかります。長期的に追加の費用を回収します。

昨年度のゼロエネルギー住宅の販売戸数は、住宅大手10社合計で1万～2万戸程度。2020年度までに10社で5万戸以上に増える見通しです。

ゼロエネルギー住宅：家庭内で消費するエネルギーから、屋根に設置する太陽光パネルで生み出したエネルギーを差し引くと実質ゼロとなる住宅。省エネにつながる建材や設備を採用することが必要。経済産業省は年間約40万戸の戸建て新築住宅のうち、2020年には半数以上をゼロエネとし、2030年に全戸の平均をゼロエネとする目標を掲げています。住宅内のエネルギー消費量をグラフなど一目で見られるようにするエネルギー管理システム（HEMS）の活用もゼロエネに推進につながります。2020年度のゼロエネ住宅関連の主要設備の市場規模は1兆1千億円と、2015年度に比べて24%増える見通しです。（2015年9月20日 日本経済新聞記事から抜粋）



工事現場に事務所機能 オリックス自動車 商用車レンタル

レンタカーのオリックス自動車は、事務所機能を備えた商用車「オフィスカー」の法人向けレンタルサービスを始めます。エンジンを止めても利用できる簡易式エアコンや充電設備を搭載。パソコンを操作するスペースを設けており、建設工事の現場責任者の利用を想定しています。（2015年9月22日 日本経済新聞記事から抜粋）



牛丼食べ続けるとどうなる？ 吉野家、大学と研究

健康志向の新商品開発へ

吉野家ホールディングスは同志社大学大学院と共同で、牛丼を食べた場合の血糖値の変化について研究を始めました。

各新聞など情報誌の記事をピックアップして掲載しています。
木のこと、経済、福祉、災害、エコ、住まいなど、色々な話題です。

御飯だけを食べた場合と牛丼を食べた場合を比較したところ、血糖値の上がり方は同じですが、牛丼の方が下がるペースが速いことが判明。

また、3か月にわたって毎日1食牛丼を食べた場合の体調の変化を調べ、年内に研究成果をまとめます。(2015年9月23日 日本経済新聞記事から抜粋)

合計特殊出生率 昨年、9年ぶりに低下

その年の出産動向が将来も続いた場合に、1人の女性が生涯に産む子供の平均的な人数を「合計特殊出生率」といいます。15歳から49歳までの女性を出産期と想定。

死亡率を加味すると、日本の人口を維持するには2.07の出生率が必要です。

2014年の出生率は1.42となり、9年ぶりにマイナスに転じました。1.35程度の出生率が続くと、日本の人口は100年後に5千万人を割り込むとされています。

安倍首相が目標に掲げた出生率1.8は、子供を欲しいと考えている若年層の希望がすべて叶うと達成します。実際の出生率1.42との差は、「仕事と育児が両立できない」「経済力が不安で2人目、3人目が産めない」などの理由で生じています。

(2015年9月25日 日本経済新聞記事から抜粋)

40歳からの運動再デビュー まずウォーキング、体重は適正？

有森裕子さんらが薦めるケガなく運動を楽しむ法

☆これから始めるには

・まずウォーキングを毎日20～30分程度。

1～3週間かけて少しずつ長くしていく。

階段を使う、一駅先から歩く、ラジオ体操なども良い。

⇒1か月後、継続する自信がついてきたら運動強度の高いものに挑戦

・体重が標準より重い人は、運動する一方、食事で減量も

・腹筋を毎日自分のできる回数から始めて徐々に増やす

☆長距離ランニングに挑戦するためには

・ウォーキングなどで1か月ほど体を慣らした後に

・足裏に負担の少ない、ソールの軟らかい靴を使用

・走る前後にストレッチ

・運動時に心拍(脈拍)測定、自分のペースをつかむ

・運動中は水分をこまめにとる

・翌日疲れるようならペースダウンを

・できれば貧血がないか医療機関でチェック

※歩行中最大の瞬間的衝撃は、体重の5～7倍。軽く走れば10倍。

平成27年10月の優しさ通信

各新聞など情報誌の記事をピックアップして掲載しています。
木のこと、経済、福祉、災害、エコ、住まいなど、色々な話題です。

※運動を続けていて物足りなさを感じたら、回数や距離を増やすよりもスピードを上げる方が強度は上がる。

(2015年9月26日 日本経済新聞記事から抜粋)

